

日光野口病院 令和3年度 看護部現任教育プログラム

		接遇をみにつける		クリニカルラダー												
レベル	目標	行動目標		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
管理能力 レベル4 師長	病院・看護部の理念 病院の目的に沿った 管理ができる。 部署の問題を明確に し、メンバーと協力を 解決していく。	プロ意識を持ち柔軟で度量の大きい対応ができる 委員会活動に参画して、安全で効率的な組織運営ができる 看護実践の役割モデルとして質の高い看護サービスが提供できる	集合 (学研)			新型コロナウイルス 感染症対策	感染経路別 予防策	接遇マナー の基本	クレーム対応 のポイント	医療安全の基礎	インフルエンザ 対策	災害理解と 医療体制の構築	個人情報保護と 情報リテラシー	チーム医療を 成功させる		
		看護研究の推進や支援ができる 患者家族の看護問題を解決できる 固定チームナーシングで看護チームの問題解決が図れる 管理認定資格	個別 (学研)		新米リーダー 現場マネジメント	暴力・ハラスメント 対策		ワークライフ バランス		効率的な 病床管理					目標設定と 面談の活用	
		院外														
レベル3 中堅レベル 5年以上	役割モデルになり専 門性を発揮できる。 受け持ちチーム・回 転チームリーダーとし て役割モデルを築き 役割モデルを築き	あらゆる場面でリーダーシップ・メンバーシップが柔軟にとれる 委員会活動に参画する 看護実践において他のスタッフのモデルになれる 看護研究(小集団等)を主体的にまとめ研究会・学会発表できる 受け持ち患者の看護を通して自己の看護観を表現し、実践できる 固定チームのリーダーとして役割が果たせる	集合 (学研)			新型コロナウイルス 感染症対策	感染経路別 予防策	接遇マナー の基本	クレーム対応 のポイント	医療安全の基礎	インフルエンザ 対策	災害理解と 医療体制の構築	個人情報保護と 情報リテラシー	チーム医療を 成功させる		
			個別 (学研)			認知症の 入退院支援		ハラスメントの 理解と対応	社会人基礎力の 育て方		ワークライフ バランス	看護の質の向上 と業務改善				
		院外				褥瘡・感染管理研修	認知症実践		医療安全							
レベル2 1人前レベル 3～5年目	受け持ち看護師として 看護実践でき、日々の リーダーとしての役割 発揮できる	守秘義務を果たしてプライバシーへの配慮ができる チーム医療の構成員として役割を理解し他の職種と協調できる 日常の看護が根拠に基づき判断でき、安全・安楽に実践できる 受け持ち看護師として問題を明確にし個別性を踏まえた過程が展開できる 他のチームや関連セクションに応援に行き役割業務ができる 日々のリーダーが自立してできる	集合 (学研)	集合研修 (4/1・2)		新型コロナウイルス 感染症対策	感染経路別 予防策	接遇マナー の基本	クレーム対応 のポイント	医療安全の基礎	インフルエンザ 対策	災害理解と 医療体制の構築	個人情報保護と 情報リテラシー	チーム医療を 成功させる		
			個別 (学研)			プリセプター マインド		互いを尊重する アサーション		配慮が必要な スタッフへの対応		良い自分の イメージさせる 目標管理				
		院外				褥瘡・感染管理研修	認知症実践		医療安全							
レベル1 新人レベル 1～2年目	指導を受けながら役割 ができる。 チームの患者の把握し ケアの実践。 複数の患者を把握し ケアの実践。 共同業務の理解と実践	職員として自覚を持ち、責任ある行動がとれる セクションの特性と業務内容を理解し、各勤務帯の業務ができる 基礎看護技術が指導を受けながら実践できる 院内研修に積極的に参加できる 受け持ち看護師としての役割を理解し、ひとりで受け持ちができる 夜勤メンバーの役割を理解し、夜勤業務ができる 固定チームナーシングを理解し、メンバーとしての役割がとれる	集合 (学研)	集合研修 (4/1・2)		新型コロナウイルス 感染症対策	感染経路別 予防策	接遇マナー の基本	クレーム対応 のポイント	医療安全の基礎	インフルエンザ 対策	災害理解と 医療体制の構築	個人情報保護と 情報リテラシー	チーム医療を 成功させる		
			個別 (学研)			バイタルサイン から状態を見抜く	非褥瘡三原則	心電図の苦手 意識をなくす	新人看護師の 急変対応	多重課題の理解		看護記録に ついて考える			ケースレポート提出 (1年間受け持ち 1症例のレポート)	
		院外				褥瘡・感染管理研修										
レベル1 看護助手	状況を全体に把握し 的見通しができる。 チームの患者の把握し ケアの実践。 介護実践において ノリセクター的役割 チームの患者の把握し ケアの実践。 共同業務の理解と実践	介護実践の指導ができる 受け持ち看護助手として個性を踏まえた介護が展開できる 他のチームや関連セクションに応援に行き役割業務ができる 基礎介護技術が指導を受けながら実践できる 院内研修に積極的に参加できる 受け持ち看護助手としての役割を理解し、ひとりで受け持ちができる 夜勤メンバーの役割を理解し、夜勤業務ができる 固定チームナーシングを理解し、メンバーとしての役割がとれる	集合 (学研)	集合研修 (4/1・2)		新型コロナウイルス 感染症対策	感染経路別 予防策	接遇マナー の基本	クレーム対応 のポイント	医療安全の基礎	インフルエンザ 対策	災害理解と 医療体制の構築	個人情報保護と 情報リテラシー	チーム医療を 成功させる		
			個別 (学研)		チームの一員 として業務理解 しよう)	守秘義務と 個人情報保護		接遇・マナーの 基本		排泄のお世話	口腔ケア	移動のお世話	認知症患者の対応			
		院外														
全体研修	必ず研修を受講 してください。 受講しなかった方は 資料を参照。	医療安全管理研修2回/年 院内感染管理研修2回/年・小勉強会2回/年 褥瘡予防管理研修2回/年 医薬品管理研修数1回/年 医療機器管理研修1回/年 給食(栄養)管理研修2回/年 認知症ケア1回～2回/年(看護部) 回復期病棟看護必要度研修1回/年(回復期所属) 看護システム研修1回/年(看護部) FIM応用編 1回/年(看護部) 目標管理1回/年(看護部) 副院長講義	必須研修	医療機器① 移乗/FIM 感染管理(ミニ①)	医薬品管理 (麻薬の取扱い)	栄養管理① 回復期研修	認知症ケア加算2 感染管理① (学研集合)	褥瘡管理① (シーティング) 医療安全管理① (学研集合)		FIM応用編 看護システム (基本・応用)	感染管理② 栄養管理② (ノロウイルス)	合同研究発表会 (第二土曜日午後 (手洗い・各部署))	感染管理③ (手洗い・各部署)	固定チーム 1年間のまとめ		

*院外研修については、別途追加研修があります。

